

小児用コロナワクチンについて

今年に入りコロナに罹患したお子さんを多く拝見しました。

無症状の方やお熱がなく咳鼻水下痢だけ、という、軽症の方もいらっしゃいますが、多くの方は年齢問わず急な高熱、頭痛、倦怠感が数日続き速やかに改善する印象です。ピーク時はかなりお辛い様子で解熱鎮痛剤を複数回使用されていました。

中には咳が長引く方もいらっしゃいました。

後遺症があった方はいませんでした。

ご家族の感染をきっかけに罹患したお子さんもいましたが、集団生活の場から感染した方が多く、感染経路が不明な方もいらっしゃいます。

何より、感染後は隔離期間が長く陽性者は10日間、ご家族は場合によっては更に一週間の隔離期間が必要となり、お子さんの学業や登校の機会が長期に制限されるだけでなくご家族のお仕事にも支障が出ている事が大変だったかと思えます。

これらのことを考えると、お子さんがコロナワクチン接種する事は大人と同様に意味のある物と考える事ができます。

接種する事のデメリットとしては、他のワクチン同様に接種部位の痛みや腫れの報告、発熱の報告があります。

ただ、その副作用は数日でおさまり、接種により学業に支障が出たとの報告は少ない様です。

大人が接種したワクチンと同様、接種後の長期的な副作用はまだ報告がなくわかりませんが、ワクチンの性質を考えると、ワクチンそのものがお子さんの成長などに影響を及ぼす事はないのではないかと考えます。

接種に当たってはお子さんとよくご相談の上ご予約頂けたらと思います。

成人同様肩への筋肉注射のため、接種時の痛み方が違ったり、緊張による迷走神経反射も起きやすくなります。

ご相談はお電話では承れませんので診察時に医師に直接ご相談ください。

あだち小児科

2022.3.1